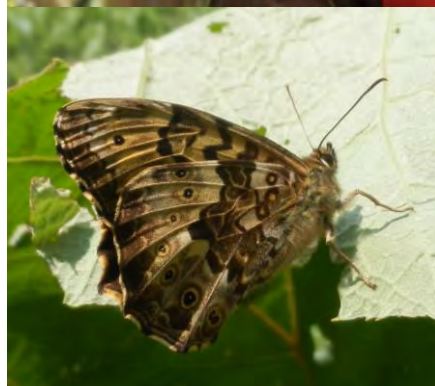


ヤマキマダラヒカゲ & サトキマダラヒカゲ

澄川森林での 40 名余のローソンごー行森林体験行事の昼休み。味噌汁を作る材料の匂いに誘われて黒っぽい蝶が飛んできました。デジカメで撮影。画像の記録は 2017 年 5 月 20 日 12 時 18 分でした。

帰宅して画面を拡大して調べました。ヤマキマダラヒカゲと判定しました。この蝶にそっくりなサトキマダラヒカゲがおりまして、2 段目の写真がそれです。2016 年 6 月 21 日 10 時 13 分澄川森林での撮影です。これほどまでに似ている模様なのに別種であるのが不思議です。実は別種と決められたのは 1970 年で最近のことです。それまではキマダラヒカゲと命名されて同種とされていたのです。幼虫の食草も同じイネ科のササ類等で幼虫の姿もそっくりなすので何をもって別種とされたのかは、分布がヤマは北方かつ内地では山地。サトは南よりで低地傾向なのだとかです。しかしかなりの範囲でオーバーラップしていますので、同じ種だと思われていたのです。両種とも分布は日本



全土でポピュラーなので澄川でもよく出現しています。前述のように北海道ではヤマキマダラの方が多くとされています。澄川森林では両種とも棲息していることが確認されたわけです。これだけ似ていれば一代雑種はどんな模様になるのか、別種であれば 2 代雑種はできないはずで、どなたかの学者が実験されたのでしょうか。区別の画像はインターネットで検索した資料から転載させていただきましたが、説明文字を読み取るには画面を拡大してお読みください。専門家でもない我々はこんなややこしい区別などどうでもいい話ですが、親子森林教室の意識の高い子供たちに問われた場合には、出来るだけ正確な答えでありたいと思う次第であります。



サトキマダラヒカゲとヤマキマダラヒカゲの区別点

サトキマダラヒカゲとヤマキマダラヒカゲは酷似しており、以下の区別点があるが、1つ1つは例外が多いため、総合的に判断する。

サトキマダラヒカゲ

ヤマキマダラヒカゲ

